

MORI MORI PRESS

August

8

2007 夏号

モリモリプレス

www.morita-kouen.net

tel.048-532-3629

〒360-0831
熊谷市久保島1000番地
fax.048-532-3682
E-mail info@morita-kouen.net

討議資料

県政
報告

埼玉県議会議員

森田俊和ニュースレター

発行／森田としかず



●様々な埼玉県の強みを活かしつつ、今後、企業誘致をどのような戦略を持って進めていくのか。

＜上田知事答弁要旨＞

第1次企業誘致大作戦は、目標を上回る企業立件ができた。1次に続き、今後3年で120件の立地を目標に新たな企業誘致を進めている。圏央道の開通、設備投資意欲が継続している経済環境など、今まさに、このチャンスを見逃さず、企業誘致をさらに積極的に進めていきたい。

1 埼玉の魅力を生かした企業誘致について



●新たな工業団地の事業がない中で、進出企業に対してどのように安定的に用地を斡旋していくのか。

＜産業労働部長答弁要旨＞

民有地への企業誘致を積極的に進めており、実績も上がっている。現在、民有地情報を蓄積しており、企業の立地ニーズに十分対応できる体制にある。

2 埼玉県の魅力を生かした農業振興について

●農業は産業の大きな柱。埼玉の農業をどのような戦略を持って導いていくのか。

＜上田知事答弁要旨＞

高い経営感覚を持った企業の農業経営体の育成に努めた結果、5倍増の経営体の育成につながった。今後、更なる育成のために、本県独自のほ場整備や新品種の育成に取り組む。農産物は現在、価格のみの競争でなく、安全性・品質・管理状態など総合評価が問われている。埼玉の農産物も競争できる状況になってきた。海外戦略も可能であり、輸出に積極的に取り組む。

●県内外への県産品のPRをどのように行っていくのか。また、小中学生をはじめとする子ども達へのPRや啓蒙活動、農業体験等の取組をどのように行っていくのか。

＜農林部長答弁要旨＞

県産農産物の集中キャンペーン、店頭試食キャンペーンを実施し、PRに努めている。小売店や飲食店の連携も進めている。海外においてもPRに取り組んでおり、今後も一層のPRに努めたい。

農業体験については支援を行い、学校給食については地元農産物を活用。食育活動や啓蒙を通じて、地元農産物、地域農業へ理解・親しみの醸成に努めている。

3 「河川の国」について

●知事が「河川の国」という言葉をお使いになるとき、今後の埼玉県としてどのような戦略や取組を考えているのか。

＜上田知事答弁要旨＞

清流を取り戻し、水辺空間を整備することによって地域の付加価値を高めることが可能と考える。「水辺再生100プラン検討委員会」を設置し、取組を始めた。川の面積が広いという埼玉の特色を活かした清流プロジェクトを興したい。

あなたの声を県政に。 森田としかず県議会にて初登壇!!

埼玉県議会6月定例会が、6月19日から7月6日まで行われました。地元熊谷、そして埼玉への熱い想いを胸に、森田俊和が県議になって初の一般質問をしました。



32歳、人生初めての登壇です



いざ質問!!!



想いを熱く語る森田



質問後、知事・議長との記念撮影



応援の皆様へ感謝!!!



森田の言葉に聞き入る皆様



知事ともガッチリ握手



傍聴席には後援会の皆様が集ってくださいました